

令和 2 年度 事業報告

1. 会議

1) 支部大会

令和 3 年度の支部大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とする。なお、議案審議・承認は、令和 2 年度幹事および令和 3 年度幹事候補者による本資料の確認をもって代える。

2) 幹事会

第 1 回 令和 2 年 6 月 17 日

- (1) 令和 2 年度北関東支部幹事の紹介
- (2) 令和 2 年度北関東支部主要事業計画について
- (3) 令和 2 年度北関東支部運営における役割分担について
- (4) 令和 2 年度北関東支部講演会開催計画について
- (5) 令和 2 年度北関東支部オープンスクール開催計画について
- (6) 令和 2 年度北関東支部リモート若手研究者発表会について

第 2 回 令和 2 年 8 月 28 日

- (1) 令和 2 年度オープンスクール進捗状況
- (2) 令和 2 年度リモート若手研究者発表会の進捗状況
- (3) 令和 2 年度北関東支部講演会開催計画について
- (4) 日本原子力学会 2022 秋の大会について
- (5) 次期（令和 3 年度）幹事選出の進捗（各組織）

第 3 回 令和 2 年 10 月 26 日

- (1) 令和 2 年度オープンスクール進捗状況
- (2) 令和 2 年度リモート若手研究者発表会の進捗状況
- (3) 令和 2 年度北関東支部講演会開催計画について
- (4) 日本原子力学会 2022 秋の大会について
- (5) 技術功労賞の募集について
- (6) 令和 3 年度支部大会（2021 年 4 月 16 日）について

- (7) 学会事故調提言フォローWG 活動への協力
- (8) 次期（令和3年度）幹事選出の進捗

第4回 令和3年2月4日

- (1) 令和2年度リモート若手研究者発表会について
- (2) 令和2年度オープンスクール実施内容
- (3) 令和2年度北関東支部講演会開催について
- (4) 令和2年度北関東支部技術功労賞の応募状況と審査について
- (5) 令和3年度支部大会（2021年4月16日）について
- (6) 日本原子力学会2022秋の大会について
- (7) 次期（令和3年度）幹事選出の進捗
- (8) 2021年度の主催・共催研究会、理解活動に関する助成について

3) 若手研究者・技術者発表会実行委員会

令和2年度は、新型コロナウイルス拡大防止のため、リモート方式で発表会を行うこととなった。名前も、“技術者”の発表を推奨するため、「リモート若手研究者・技術者発表会」と命名した。

第1回実行委員会 令和2年7月28日

- (1) 令和2年度若手研究者発表会実行委員の紹介
- (2) 令和2年度事業内容について
- (3) 役割分担について

第2回実行委員会 令和2年10月20日

- (1) リモート若手研究者・技術者発表会の進め方と当日の対応について

2. リモート若手研究者・技術者発表会

開催日時：令和2年10月28日（水） 10:00～16:30

方法：ZOOM方式による

リモート若手研究者・技術者発表会を開催した。午前の部(10:00-12:00)では、若手発表者による自己紹介および簡単な発表内容紹介、午後の部(13:30-16:30)では発表の審査と審査発表、および優秀発表者の発表を行った。発表者数は29名、実行委員を含めその他参加者は約20名、合わせて約50名であった。

一般の部と学生の部において、以下の発表が最優秀発表賞および優秀発表賞に選ばれ、大井川支部長から表彰状が送られた。なお、学生の優勝発表者には副賞として図書カードが送られた。

【一般の部】

- 最優秀発表賞（1件）

・廣岡 瞬（日本原子力研究開発機構）
「機械学習を用いた MOX 燃料ペレットの金相写真の画像解析」

○優秀発表賞（1件）

・佐々木 孔英（日本原子力研究開発機構）
「Cs 捕獲機能を有する高温ガス炉燃料被覆層の開発」

【学生の部】

○最優秀発表賞（同点により2件とした）

・上原 優利乃（茨城大学）
「水生植物を用いた放射性 Cs の濃縮と除去の応用」
・鈴木 碧海（茨城大学）
「放射線照射された細胞内における Ca^{2+} イオン伝搬のライブセルイメージング」

3. オープンスクール

開催日時：令和2年12月20日（日） 9:00～12:30

開催場所：茨城県那珂郡東海村 東海文化センター

東海村が主催する「(仮称) 歴史と未来の交流館」のプレイベント(交流館プログラム特別先行体験会)の一環として令和2年度の日本原子力学会北関東支部オープンスクールを開催した。北関東支部から、放射線検出器による宝探しゲームを実施した。これはたくさん用意したいくつかのカプセルの中に、マントル線源、湯の華、塩化カリウム(肥料用)の線源を入れ、これを宝探しにみたく GM 管や NaI 検出器を用いて発見し、点数を稼ぐ遊びである。点数の多さで勝利チームを決め、また高得点を出した小学生には記念カードを与えた。

本イベントは事前申し込み制であり、参加児童数は小学校高学年の28人であった。アンケートをとった結果、小学生にも好評な遊びであることがわかった。

4. 支部講演会

日時：令和3年2月9日（火）

方法：Zoom ウェビナーによる

講演会のプログラムを以下に示す。当日の参加者数は71名であり、活発な議論が行われた。

～ 第I部 ～

- ① 逢坂 正彦 氏〔日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門〕
「東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所燃料デブリ等分析について」
～ 燃料デブリ分析及び評価への JAEA の貢献 ～
- ② 佐々木 新治 氏〔日本原子力研究開発機構 高速炉・新型炉研究開発部門〕
「福島第一原子力発電所廃炉に向けた取り組み」

～ 大洗研究所燃料材料試験施設における試験と今後の展開 ～

- ③ 佐藤 修彰 氏〔東北大学 原子炉廃止措置基盤研究センター〕
「東北大学における燃料デブリに関する基盤研究への取り組み」
～ 1F 廃炉の課題解決へ向けて ～

～ 第Ⅱ部 ～

- ④ パネルディスカッション
「燃料デブリ取出しに向けた分析・評価の現在とこれから」

5. 技術功労賞表彰

令和2年度の技術功労賞として以下の1件を表彰した。

令和3年4月1日に、大井川支部長から表彰状と受賞盾、および副賞が贈呈された。

- (1) 「原子炉安全性研究炉 (NSRR) における新規制基準対応の完遂及び運転再開」
団体 新規制基準を踏まえた原子炉安全性研究炉 (NSRR) 運転再開チーム
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所 研究炉加速器技術部 NSRR 管理課
代表 伊藤 匡聡

以上

日本原子力学会 北関東支部

令和2年度収支決算報告

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日
(単位:円)

	科目	決算	備考
収入	1. 本部配分金収入(A)	¥1,929,000	
	2. その他収入(受取利息)(B)	¥1	他の活動による収入なし
	収入合計(A)+(B)	¥1,929,001	
支出	臨時雇賃金支出	¥0	
	会議費(会場)支出	¥0	
	旅費交通費支出	¥4,620	OS旅費東海村往復1名分
	通信運搬費支出	¥21	切手代
	消耗品費支出		
	一般外注経費支出	¥321,172	2019, 2020年度支部HP運用保守費, 2019,2020年度技術功労賞盾代
	出展費支出	¥33,545	OS消耗品(景品、ボールペン、消毒アルコール等)
	委託費支出	¥0	
	賃借料支出	¥0	
	諸謝金支出	¥0	
	雑出費支出	¥40,000	技術功労賞副賞、若手発表会優秀賞
	負担金支出	¥4,070	振込手数料
	当期支出計(C)	¥403,428	
	配分金返納額 (D)=(A)-(C)	¥1,525,573	
	活動収入の本部回収額 (E) =(B) × 0.2	¥0	
支出合計(C)+(D)+(E)	¥1,929,001		

日本原子力学会 北関東支部

令和3年度 幹事選任

支部長	西原 哲夫	日本原子力研究開発機構 大洗研究所
副支部長	鴨志田 守	日立GEニュークリア・エナジー株式会社
庶務幹事	石田 真也	日本原子力研究開発機構 大洗研究所
会計幹事	大谷 恭平	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
幹事(監査)	松本 哲郎	産業技術総合研究所
幹事	西 剛史	茨城大学
幹事	伏見 篤	日立製作所
幹事	遠藤 洋一	日本核燃料開発株式会社(NFD)
幹事	瀬川 智臣	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所
幹事	林 孝夫	量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所
幹事	竹本 吉成	日本原子力発電
幹事	竹田 武司	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

日本原子力学会 北関東支部 令和3年度事業計画

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

1. 会議

- | | |
|----------|-------|
| 1) 支部大会 | 年1回 |
| 2) 支部幹事会 | 年5回程度 |

2. 支部技術功労賞表彰(支部大会時に表彰) 年1回

3. オープンスクール(原子力の日前後の週末) 年1回

4. 北関東支部講演会 年1回

5. 若手研究者・技術者発表会 年1回

6. 研究会(後援・共催を含む) 年数回

7. 原子力教育等への助成活動 年数回

8. その他

上記の他に随時機会を捉えて活動を行う。

以上

日本原子力学会 北関東支部 令和3年度収支予算

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日
(単位:円)

	科目	決算	備考
収入	1. 本部配分金収入(A)	¥1,335,000	
	2. その他収入(受取利息)(B)	¥0	
	収入合計(A)+(B)	¥1,335,000	
支出	臨時雇賃金支出	¥0	
	会議費(会場)支出	¥120,000	支部講演会 会場代
	旅費交通費支出	¥260,000	若手最優秀賞への原子力学会旅費支給、イベント等に参加する幹事旅費、若手発表会実行委員旅費
	通信運搬費支出	¥65,000	郵送料・HPサーバー賃貸費
	消耗品費支出	¥65,000	事務用品等、支部講演会・OSコロナ対策消耗品
	一般外注経費支出	¥210,000	HP運用・保守費、功労賞盾代、OSパンフレット印刷、OSアンケートデータ整理
	出展費支出	¥500,000	オープンスクール出展費
	委託費支出	¥0	
	賃借料支出	¥0	
	諸謝金支出	¥55,000	支部講演会講師謝金及び交通費
	雑出費支出	¥60,000	技術功労賞副賞、若手発表会優秀賞
	負担金支出	¥0	
	当期支出計(C)	¥1,335,000	
	配分金返納額(D)=(A)-(C)	¥0	
	活動収入の本部回収額(E)=(B)×0.2	¥0	
支出合計(C)+(D)+(E)	¥1,335,000		